

場所 高知県土佐郡土佐町

面積 10.7ha



活動目的 貴重な資源である森を守り、育て、活用するという事業を通して、地球温暖化対策と生物多様性の保全に取り組む。

サイト概要 中江産業株式会社は国土のおよそ1/6,000（合計面積6,458ha）の森林面積を持つ企業として、創業以来約140年間にわたり、計画的な施業による堅実で安定した林業経営を続けている。本サイトの複層林は高知県土佐郡土佐町の西部に位置しており芥川団地（面積560ha）の一部である。サイトはヒノキによる複層林となっており適切な森林整備を行う事で下層植生も多く繁茂している。

土地利用の 変遷

創業者中江種造が1885年（明治18年）に銅鉦山事業を開始した。その後、1898年（明治31年）より高知県で植林事業を開始し京都府、徳島県、岐阜県へと拡大した。
申請サイト区域については従来から森林地帯の一部として保全・利用されてきた。
又、2015年（平成27年）には申請サイトを含む全ての所有林でJ-クレジット制度に登録、2023年（令和5年）にクレジットを取得した。

サイト周辺の 環境

吉野川支流の瀬戸川は吉野川の治水と四国地方全域の利水を行う早明浦ダム上流に位置し、標高1,000m級の山々に囲まれた美しい渓谷となっている。又、周辺には工石山陳ヶ森県立自然公園がありブナ、ヒノキなどの原生林とシャクナゲなどの植物に恵まれている。

アピール ポイント

サイトは芥川団地内の標高900m～1,000mに位置し、弊社が管理する唯一の複層林となっている。1922年に上層木となるヒノキを植栽し、間伐を経て2002年に下層木のヒノキを植栽し、下刈り、枝打ち、間伐による森林整備により、下層植生は多種多様な植物が生息している。
2008年より継続的にエリア内の生育調査等を行っており、今後も適切な森づくりによって、生物多様性の保全に配慮する。

生物多様性の価値

価値（3）里地里山といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場

【場の概況】

土佐町瀬戸における複層林。1922年（大正11年）に植栽したヒノキを2001年に間伐し材積2,574m³の木材を搬出した。翌年の2002年（平成14年）に下層木としてヒノキを植栽し上層木と下層木の複層林人工林となっている。2024年（令和6年）現在で上層木の樹齢103年、下層木の樹齢23年となっている。下層木植栽後の下刈りや除伐、間伐等の適切な森林整備により下層植生も豊富な森林となっている。

【主な植生】

ヒノキ

【確認された主な動植物など】

鳥類7種、哺乳類8種、昆虫類5種、植物（草本）16種、植物（木本）81種

鳥類はウグイス、キビタキ、コガラ、センダイムシクイ、ツツドリ等

哺乳類はイノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ニホンノウサギ、ホンドタヌキ、ニホンリス、ニホンアナグマ等

昆虫類はススメバチ、イヨシロオビアブ、ブユ、ヒグラシ、ヤマトカブトムシ

植物（草本）はセンブリ、ヒヨドリバナ、ホトトギス、ヤマハハコ、ホウチャクソウ等

植物（木本）はアオハダ、アカシデ、アカマツ、アカメガシワ、アケビ、アセビ、コナラ、コハクウンボク等



写真の説明：複層林



写真の説明：ホウチャクソウ

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

土佐町瀬戸における複層林。下層木の植え付け後の下刈り期間を終えた2008年から定期的に動植物の調査を実施している。尚、サイト内から希少植物は発見されていない。

【主な植生】

ヒノキ

【確認された主な動植物など】

鳥類7種、哺乳類8種、昆虫類5種、植物（草本）16種、植物（木本）81種

鳥類はウグイス、キビタキ、コガラ、センダイムシクイ、ツツドリ等

哺乳類はイノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ニホンノウサギ、ホンドタヌキ、ニホンリス、ニホンアナグマ等

昆虫類はススメバチ、イヨシロオビアブ、ブユ、ヒグラシ、ヤマトカブトムシ

植物（草本）はセンブリ、ヒヨドリバナ、ホトトギス、ヤマハハコ、ホウチャクソウ等

植物（木本）はアオハダ、アカシデ、アカマツ、アカメガシワ、アケビ、アセビ、コナラ、コハクウンボク等



写真の説明：ニホンアナグマ



写真の説明：コハクウンボク

サイトの活動計画・モニタリング計画

| 活動計画の内容 | モニタリング計画の内容 |
|--|---|
| <p>○森林整備：中江産業所有林全山を対象とした森林経営計画に則り適切な森林整備を行う。森林整備は複層林の下層木について約10年間隔で保育間伐を行う。</p> <p>○下層植生：適切な森林整備により下層植生が豊かな森林となる。モニタリングにより希少植物が発見された場合は高知県立の植物園へ種名の同定や保護方法等、協力して頂く。</p> <p>○二酸化炭素吸収源：適切な森林整備により下層木の成長促進に繋がりサイト内の2024年度の二酸化炭素吸収量は約130t-CO₂となる。J-クレジット制度に沿って二酸化炭素吸収源として維持する。</p> <p>○森林巡視：ウラジロガシ、アセビなどの採取場として開放している。弊社の巡視のみでは無く地元集落の方も頻繁に入山する事により森林火災・病虫獣害・気象害・不法投棄等の予防を兼ねている。</p> <p>適切な森林整備、豊かな下層植生、二酸化炭素吸収源、森林巡視により森林を維持する事で生物多様性に繋がる。又、山地災害の防止、保水能力の向上へも貢献する。</p> | <p>【モニタリング対象】 鳥類、哺乳類、昆虫類、植物（草本）、植物（木本）</p> <p>【モニタリング場所】 中江産業株式会社所有林の高知県土佐郡土佐町瀬戸にある複層林において調査地点は2008年当初からと同じ場所でサイトの中央部分の比較的傾斜が緩やかな場所とする。</p> <p>【モニタリング手法】 目視により動植物種の同定や分析を行う</p> <p>【モニタリングの実施時期及び頻度】 5年に1度で季節を変えて春と秋に行う</p> <p>【モニタリング実施体制】 主に自社の社員により活動を行う。 上層木および下層木の森林整備とモニタリングの結果を踏まえながら、2年に1回点検を行い、必要に応じて軌道修正や追加的に必要な作業の設定を行う。 昆虫類は自社社員の知識が乏しい事から有識者に指導を頂きながら実施する。</p> |